

退任挨拶

前副会長
松 崎 昭



皆さん、こんにちは。もう1年以上前ですけれども、協会の西日本の大会で90分ほどお話をさせていただきました。そのときに触れた中で1点だけ、ここで話ししたいと思います。

皆さんがいろいろな局面でいろいろな判断をされる時に3つの目が必要と、僕はお話ししました。1つは、全体を俯瞰する鳥の目。全体を見られる鳥の目。それから、そうは言っても、本質的な問題についてはローカルなことも見きわめる虫の目、それと、全体のトレンド、流れを見るという意味で魚の目、この3つの目が必要ですよというお話をしました。皆さん、いろいろな業界団体で活躍されていらっしゃると思いますが、それはおそらくさっきの話でいうと、非常にローカルで特定の産業ですから虫の目のところだと思いますけれども、幸いなことにこの日本知的財産協会はいろいろな業種の方がここに集まっています。これは非常に強いことで、皆さんがいろいろな意見交換をして、情報をいろいろ交換してやることによって、いわゆる鳥の目、全体を俯瞰する目、もしくは多面的な複眼的な目といいますか、そういうことが育つでしょうし、トレンドも読めるようになるということで、この日本知的財産協会にいらっしゃるということは非常に大きな財産ですので、ぜひそういう能力を上げていただきたいと思っています。

私自身も野間口前会長、それから現会長の竹中会長とご一緒させていただいて、そういう思いを非常に強くしております。2年間、大したことはできませんでしたが、きょうで退任ですが、日本知的財産協会のますますのご発展を祈っております。どうもありがとうございました。